

校長通信

Morifun

第1期末考査も無事終了、全力を出し切れたでしょうか。高校生の本分は学習にあります。高校生だからインターハイや甲子園大会そして高総文祭等に出場できるのです。何事にも手を抜かず頑張る癖をつけましょう。さて、来週は待ちに待った体育祭です。気になるのは天気ですが、祈るしかありません。学校行事も高校生活では大事なイベントです。運動には得手不得手がありますが、ぜひクラスの団結を強めてもらいたいと思います。ルールを守り、対戦相手をリスペクトして、楽しく、思い出に残る行事になることを期待しています。

<6/8 3年主権者教育>

本校では初の試みとなる、各政党の代表者から直接話しを聞き、模擬投票を行う特別授業を行いました。民法の改正により18歳成人となり、すでに選挙権を持つ生徒もいます。来月実施される参議院選挙にもしっかり参加できるよう、また選挙権がない生徒も政治をより身近なものとして感じ、将来の主権者として選挙の大切さを認識してもらおうという願いから開催されました。参政権を扱った国語演習の授業で「実際に政治家の声を聞きたい」という意見があり、各党に働きかけて実現にこぎつけました。事前に用意した、「日本が平和であるためには改憲は必要である」「公立・私立関係なく学費の無償化は可能である」「安心な生活

をおくるためには、増税は必要である」といったテーマに〇×で回答し、主張を展開しました。その後、各党が5分間ずつ演説。最後に模擬投票を行いました。開票は8月の盛附祭で行う予定です。生徒たちはメモを取りながら終始真剣なまなざしで聞き入っていました。学校教育法第51条にある「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に貢献する態度を養う」という高校教育の目標に近づくことができたと確信しています。



<5/24・6/7 全校礼拝より>

新約聖書 マタイによる福音書 第7章 12節

聖書は分厚く、旧約聖書は1502ページ、新約聖書は480ページもあります。では聖書にはどういうことが書かれているかということ、大きく二つのことが書かれています。一つは「神を大切にする」目には見えない存在を大切にするというもの。もう一つは「人を大切にする」ということがあります。

今読んだ箇所は「人を大切にする」ための教えの一つです。人を大切にするためには、具体的にどうすればいいのか。「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」この言葉は黄金律、ゴールデンルールと呼ばれるもので、時代や国境を越えて全ての人に共通のルールということです。

この言葉自体はイエス・キリストが創った言葉というよりは、同じような言葉が世界中にあります。例えば、古代ギリシャには、「人にしてもらいたくないと思うことはあなたがたも人にしてはいけない」という言葉があります。

本日の「人にしてもらいたいことを人にしなさい」について考えてみると、「人にしてもらいたいこと」というのは、人にしてもらって自分が嬉しいこと、困っているときの相談に乗ってもらう、助けてもらう、何もできなくても隣にいてくれるということも嬉しいことです。共通していることは、自分が相手から大切にされていることに繋がる行為です。では、「人にしてもらいたくないこと」というのは、意地悪をされたり、悪口を言われたり、共通点をあげれば、自分が大切にされていないということです。つまり、どちらも人を大切にするというのが共通点であり、人を大切にするために自分がしてもらいたいことを相手にする、人を大切にするために自分がされて嫌なことを相手にはしない。

この言葉が聖書全体を要約しており、「人にしてもらいことを人にする」という教えになります。人を大切にするためにはどうしたらよいかを、これからも一緒に考えていきたいと思います。

新約聖書 使徒言行録 第2章 1節~13節

キリスト教には3つの重要な行事があります。1つ目はクリスマス、これはイエス・キリストの誕生を祈念するもの、それからイースター、イエス・キリストの復活の祈念、そしてもう一つがペンテコステという、聖霊降臨とも言われるものがあります。イエス・キリストが十字架刑になり復活したと信じられています。イエス・キリストが神様のもとに帰り、その代わりに聖霊が降ったとされています。

「聖霊」というのは分かりづらいのですが、同じ言葉で「精霊」というのは、例えば草木に宿る、場合によってはご先祖様の霊のように目には見えない存在を言います。今日お話する「聖霊」は神の霊のことです。この聖霊が弟子たちの下に降るとというのがペンテコステというものです。そして今日お読みした使徒言行録がペンテコステという物語です。簡単にどういう場面かということ、イエス・キリストが復活して天に帰った後に、残された弟子たちが一つにならずずっと祈っていたのですが、それは聖霊が降るといふ約束が与えられていたからですが、その約束通り一人ひとりの頭上に火の玉のようなものが降ってくるのですが、

それが聖霊だったのです。するとそこにいた弟子たちが色々な国の言葉で話し始めたのです。

今日注目したいのは、聖霊が一人ひとりに降っているということです。誰か一人だけ特別に選ばれたのではなく、その場にいた一人ひとりに降ったように、私たち一人ひとりに聖霊が与えているのです。聖書独特の言葉で、聖霊が一人ひとりに与えられていて、一人ひとりに何らかの大切な役割が与えられている。そういう神様からの贈り物のことを賜物と呼びます。この賜物というのは、ギリシャ語では「カリスマ」と呼ばれるもので、これは例えば人の心を惹きつける魅力的な人のことや、たくさんの人に支持されている人を、「あの人はカリスマ性がある」などといいます。今の私たちは、そういう特別な人、選ばれたような人をカリスマと呼びますが、元々は一人ひとりが何らかのカリスマ、賜物を与えられているという考え方なのです。

では、自分にどういう賜物があるのかなと分からないのですが、この賜物とは、何か人の目を引く才能とか特技だけを指すことではなく、人には気づかれにくいもの、そういう賜物もあるはず。本人も気づいていない、何かその人しかできない、その人の存在からにじみ出てくるような、そういう役割、働きのような気がします。聖書は一人ひとりに何らかの大切な賜物を与えられていると言っています。そしてその賜物を一人ひとりが持ち寄って助け合っていくのが大事だと言っています。(花巻教会牧師・鈴木道也先生)

<高総体結果(上位入賞)>

野球部 第2位 **陸上部(東北大会出場者)** 男子5000m 6位 佐藤誠吾 男子3000mSC 1位 天瀬海斗 6位 工藤七斗 女子1500m 4位 佐藤花 800m 3位 佐藤花
柔道部 男子団体 第1位 女子団体 第3位
男子 60kg 1位 石綿温人 66kg 1位 勝田隆暖 3位 小田祐輝 73kg 3位 戸浦楓太 81kg 1位 山田煌晟 2位 佐々木康太 90kg 1位 中村陸玖 100kg 1位 山藤光星 2位 相場啓吾 100kg超 3位 浅田唯斗 菊池悠希

女子 48kg 3位 山上愛華 57kg 2位 一戸柚 78kg超
1位 石川奈七子 **サッカー** ベスト16

<部活動を振り返って①>

高総体を最後に引退した皆さんに感想を述べてもらいました。2回にわたって掲載します。質問内容は以下の通り。

- 1 高総体を振り返って 2 部活動を振り返って
- 3 後輩へ一言

バドミントン部(男子) 3年1組 中田 颯

- 1 最後の大会で団体1回戦敗退、個人戦2回戦敗退という悔しい結果になってしまいましたが、明るく声をかけ合い、精一杯試合をすることができました。
- 2 楽しかった事や辛かった事が沢山ありましたが、沢山の方に支えられて、最後までやり切ることができました。ありがとうございました。
- 3 短い間だったけど後輩のみんなと部活動ができて楽しかったです。これからも悔いのないように頑張ってください。応援してます!!

バドミントン部(女子) 3年4組 阿部 凜沙

- 1 3年生が全員揃って出られる最後の大会では、団体戦で惜しくも1回戦で負けてしまいました。しかし、みんなで協力し行った試合はいいものとなったと思います。
- 2 3年生は3人という少ない人数で部活動を終えました。この3年間いろいろなことを助け合いながら行った部活動はこの高校生活でかけがえのないものになったと思います。
- 3 心晴ちゃん! 2年生は1人で大変だと思うけど、みんなを引っ張って行ってあげてください! 1年生は心晴ちゃんに協力してしっかりついて行ってあげてください!

ソフトテニス部(男子) 3年2組 渋谷登夢

- 1 私にとって高総体は2回ありました。1回目は昨年の高総体です。自分は先輩たちに混ざってベスト8といういい結果が残せました。2回目は今年の高総体です。今年は初戦敗退という悔いの残った結果になりました。嬉しい気持ちと悔しい気持ちを経験して、いい人生経験になりました。
- 2 3年間部活動を続けてきて、色々な人生経験ができました。いいプレーが出せて巧くいく時もあれば、人間関係などでうまくいかずストレスがたまる時もありました。でも暗い雰囲気ではなく、笑顔で楽しく部活動ができました。

3 ソフトテニス部過去一のネタキャラ折原がいなくなるけど、コミュニケーションをしっかりと取り、笑顔を忘れずに明るい雰囲気にしていった。

ソフトテニス部(女子) 3年2組 伊藤百花

- 1 自分達が今までやってきた自分達のテニスを最後にチーム一丸となって発揮することができました。勝ちきれなかったところや悔しいところは沢山あるけど、自分が打ったボール一つ一つに後悔はありません。短い間自分を支えてくれた仲間に、自分達をここまで導いてくれた小山先生に感謝しています。
- 2 2年ちょっとの間に私はソフトテニス部に入ったことにより大きく成長したと思います。技術的な面でも精神的な面でも仲間や先生方との関りが自分の成長に大きくつながりました。1つのことに集中し継続することは難しく苦しいものだと学びました。辞めたいと思った時、止めてくれた両親、部長の私を最後まで支えてくれた仲間や先生方とテニスができたことを誇りに思います。
- 3 自分達の力を信じて大会を戦い抜いてください!!

バスケットボール部(男子) 3年2組 澤屋敷 来夢

- 1 とても悔しい結果になってしまったが、3年間で身に付けてきた力を十分に発揮できました。
- 2 問題が沢山ある3年間だったけど、部員一人一人の仲が良く、辛い時支え合いながら取組みとても良い部活動だと思いました。
- 3 1勝でも多く勝てるようにバスケが好きな気持ちを忘れずに日々の練習を頑張ったね。

女子バスケットボール同好会 3年5組 大棒葉月

- 1 負けてしまったけど、今までしてきた試合の中で一番練習の成果が実り、個々の力が発揮できた試合になったと思います。悔いが残らない試合をすることができて良かったです。
- 2 人数が少なく、満身に練習できる機会が少なかったけど、限られた短い時間の中で、私たちらしく3年間活動ができたことをすごくありがたく感じました。
- 3 これからももしかしたら、辛い時期が続いたりすることもあるかもしれませんが、そんなときこそ一旦立ち止まって、みんなの気持ちを揃えて一つ一つ悔いの残らない活動にしていってください。

★みんなの熱い思いが伝わってきました! お疲れ様!! ★